

指定管理者による公の施設の管理運営状況（令和6年度分）

施設名	茨城県県西生涯学習センター
施設所管課	生涯学習課
指定管理者	（特非）日本スポーツ振興協会
指定期間	R3. 4. 1～R8. 3. 31（5年間）

1 施設の概要

施設所在地	茨城県筑西市野殿 1371
施設の概要	・方 針 県西地域の生涯学習を推進する中核施設として、市町及び関係機関等との連携を図りながら、「地域のリーダー育成・交流」「現代的課題へのチャレンジ」「若者のトップランナー育成」を柱に、地域課題・現代的課題へ向けた、学習情報・学習機会、並びに学習成果の活用場の提供等を行う。 ・事業推進のテーマ 新たな学びや活動への一歩～人づくり・地域づくり・仕組みづくりの生涯学習～ ・敷地面積 20,523㎡ ・建物延床面積 4,039㎡ ・施 設（「IBARAKI FREE Wi-Fi」利用可） 小講座室（4室）、中講座室、レッスン室、創作室、和室研修室、会議室 多目的ホール、情報図書コーナー、コワーキングスペース、野外ステージ 芝生広場、託児室（子育てコミュニケーションルーム）、ボランティア室等
業務内容	・施設設備、附属設備並びに備品の維持管理に関する業務 ・施設等の利用の承認業務及び承認の取り消しに関する業務 ・施設等の利用料等の収受等に関する業務 ・主催事業の実施（指定事業・自主事業）に関する業務 ・県への協力及び関係機関との連携に関する業務 ・その他施設の管理に必要と認められる業務

2 職員の状況

常勤職員： 13人	非常勤職員： 4人	合計：17人
-----------	-----------	--------

3 収支状況

令和6年度		（単位：円）	
収 入		支 出	
指定管理料	119,679,000	人件費（給与等）	57,946,102
利用料収入	6,941,640	指定事業費	7,749,000
指定事業収入	1,900,000	自主事業費	7,537,000
自主事業収入	8,949,960	維持管理費	55,150,490
その他（利息等）	0	修繕費	2,026,081
		その他	7,000,000
収入合計	137,470,600	支出合計	137,408,673

4 利用状況

	令和6年度実績	令和5年度実績	令和4年度実績
①年間利用日数(日)	313日	313日	310日
②年間利用者数(人)	82,851人	81,729人	100,167人
③利用料収入(円) (指定管理者収受額)	6,941,640円	6,316,650円	6,777,130円

5 サービス向上に向けた取組み

- ・茨城県生涯学習情報提供システムによるオンライン申込により、利便性向上に努めている。
- ・県西地区 10 市町の全小学生に年 6 回広報紙を配布し、体験の機会を提供している。
- ・情報図書コーナーの書架や机の配置を整え、学習者が利用しやすい施設作りを行っている。
- ・談話スペースに、電子レンジや給湯ポットを無料で設置し、県民サービスの向上を図っている。
- ・ボランティアとともに、沿道等の自然環境を整え、住民の交流・憩いの場作りを行っている。
- ・夏期の熱中症対策のため、館内に大型扇風機等設置し、快適な空間作りを行っている。
- ・IBARAKI FREE Wi-Fi を整備し、利用者サービスの向上を図っている。
- ・祝日により、月曜日の休館日が翌日以降の平日に振替えられる場合も、開館している。
- ・Facebook や X (旧 Twitter)、Instagram による双方向情報発信を積極的に行っている。
- ・Web ページ・電子メール・FAX ・郵送等での施設等使用申請受付を実施している。
- ・館内清掃や消毒、検温（職員）等の感染予防のための基本的事項は継続して行い、安心安全な管理に努めている。

6 利用者満足度調査の結果及び対応状況

○実施方法

- ・前期（10 月 3 日～10 月 20 日）・後期（3 月 1 日～3 月 17 日）に利用者アンケート調査を実施
サンプル 278 人（前期アンケート 134 人、後期アンケート 144 人）
紙での記述方法に加え、WEB での回答方法を行っている。

○調査結果

①開館日・開館時間

大いに満足 21.6%、満足 47.4%、ふつう 30.3%、不満 0.7%、大いに不満 0%

②職員・スタッフの対応

大いに満足 20.2%、満足 43.2%、ふつう 33.1%、不満 2.8%、大いに不満 0.7%

③施設の清潔さ

大いに満足 23.7%、満足 43.6%、ふつう 30.3%、不満 2.1%、大いに不満 0.3%

④プログラムの内容

大いに満足 27.5%、満足 41.5%、ふつう 27.9%、不満 2.8%、大いに不満 0.3%

⑤施設全体

大いに満足 11.8%、満足 46.0%、ふつう 37.3%、不満 4.2%、大いに不満 0.7%

○利用者からの意見等

【良い点】

- ・職員の方々が諸々相談に乗ってくれるなど、親身になって対応してくれる。
- ・清掃に関しては、特に洗面所の気配りが行き届いていて、生けた花などあたたかみを感じられ、気持ち良いです。利用しやすく、利用者側の視点に立って色々心配りをしていただけるなど常々感じています。
- ・多様なイベントや講座があり、気軽に申し込み体験できるのがよいです。

【悪い点】

- ・設備が老朽化しているのに更新していく様子が感じられない。例えばトイレ、和式便器のままで高齢者が利用しにくい。
- ・教育関係者の予約が多すぎて、取れないことが多い。

【要望】

- ・上期講座と下期講座とも、一つは歴史講座を入れて頂きたいです。
- ・予約可能な日数が少ない。3 ヶ月位希望です。利用料金が高い。

○対応状況

- ・県民の皆様のニーズ（趣味・教養等）に応える自主事業を今後とも開催できるよう努めます。
- ・講座室の予約については、センターの利用を希望する多くの県民の皆様に幅広く公平に御利用いただけるよう今後とも調整を図ってまいります。

7 管理運営状況の評価

評価項目	事業計画 (管理指標)	実績 (管理指標に対するコメント)	自己 評価	所管課 評価
維持管理	設備保守点検は、事業計画等に照らし適切か。	法定点検等、専門的な企業に業務を委託し、適切に管理している。施設の老朽化に伴い、予想される経年劣化や、補修方法等についての情報を収集し、県へ報告するとともに、計画的に補修・改修が実施されるよう、保全計画を策定している。	B	B
	整理整頓・清掃が行き届いているか。 (建物・植栽等)	日常的に清掃・点検を実施し、施設の良好な衛生環境、美観維持に努めている。沿道のアジサイの手入れや草刈りをボランティアと行い近隣の美化活動を行っている。	B	B
	破損箇所の修繕は適切か。	要修繕箇所に優先順位をつけ、迅速に修繕を行い、良質な環境の提供、安全管理に努めている。工事が伴うものは、県と協議の上、進めている。	B	B
施設運営	使用日数、使用時間等は守られているか。	関係条例等を遵守し、適正な運営を行っている。開館日を増やす等の変更については、県へ事前に報告し適切に運営を行っている。	B	B
	予約・利用許可等、利用者への対応は平等・公正に行われているか。	平等・公正な運営については、細心の注意を払って実行している。センターの意思決定のプロセスを統一し不公平な判断が起きないようにしている。	B	B
	創意工夫により、魅力ある自主事業の実施等、施設の利用拡大やサービスの向上が図られているか、	利用者アンケートの基づき、趣味教養講座や、子ども体験活動の事業数を自主事業により開催し、利用者ニーズと青少年の健全育成に努めた。大規模イベントを年2回から年3回に変更し徹底した安全対策のもと、事故等無く運営を行い、県民交流の場を提供している。講座の受付や運営補助を高校生ボランティア活動の場として提供し、受講生の満足度、そして高校生の地域への帰属意識を高めている。	A	A
	利用者の要望を把握し、運営に反映させ、満足度を高めているか。	施設利用アンケート、事業ごとにアンケートを行い、施設運営や講座運営に反映している。頂いたご意見への対応や回答を公開し、風通しの良い施設運営を行っている。	B	B
運営体制	職員は適切に配置されているか。	適切に人員配置を行っている。スタッフの個性を見出し、適材配置を行うとともに、体系的研修を実	B	B

		施することで、職員の業務に対する意識・モチベーション・職能を高めている。		
	要望、苦情等への対応は迅速かつ適切か。県へ報告しているか。	要望や苦情等への初期対応に注力し、迅速かつ適切に対応するとともに、二次クレームに発展しないよう心がけている。また、県への報告も適切に行っている。	B	B
	事故・災害等、緊急時に備えた体制は確保されているか。	消防訓練並びに職員研修により、避難誘導体制を構築し、緊急時の対応に万全を期している。	B	B
	県、その他関係機関との連携は取れているか。	課題解決チャレンジ事業等、県西教育事務所や、各市町社会教育主事との連絡調整機能を高め、県西管内の運営上の課題等について、関係機関との協力・連携体制の強化を常に図っている。	B	B
利用状況	利用者数の状況は、計画を達成できているか。	企業研修等での利用や多目的ホールの認知を広報紙等で告知し、利用促進を行った。減免施設利用時に調整等を行い、前年の利用料金を達成することができた。	B	C
	施設の稼働率は、事業計画に照らして適当な水準にあるか。	利用率が低い講座室や時間帯での主催事業の実施や新規、継続の学習隊のサポートを行い、各講座室の利用率の向上を図っている。	B	B
収支状況	収支計画が適正に執行されているか。	執行計画に基づき、適正に執行している。職員が予算（収支）を意識した事業の立案、実施を行っている。	B	B
	経費削減に向けた取組みがされているか。	部品交換で対応できる修繕は、専門職員が行う等、経費を縮減しながら、安心安全に利用できる施設管理に務めている。	B	B
【総合評価】・・・各評価項目及び施設の性格・特殊性を考慮した総合的な評価 県西地区全小学生への年6回の広報紙配布や SNS による情報発信など、センターの取組についての周知に努めた。また、障害者や困難を抱える子ども・若者への支援などに取り組むとともに、アンケート結果に基づいた事業改善や若年層を対象とした事業の拡大などを図ることで、利用者満足度調査の「④プログラムの内容」における「大いに満足」の割合が昨年度比で4.5%（23.0%→27.5%）増加した。以上のことから、総合的に見て、良好であると評価できる。				

- ※ ・実績（管理指標に対するコメント）欄については、指定管理者が記入する。
- ・総合評価欄については、所管課が記入する。
- ・自己評価、所管課評価欄について

評価	評価基準
A	事業計画を上回る成果があったもの
B	事業計画どおりの成果があったもの
C	事業計画を下回っており、改善努力が必要なもの